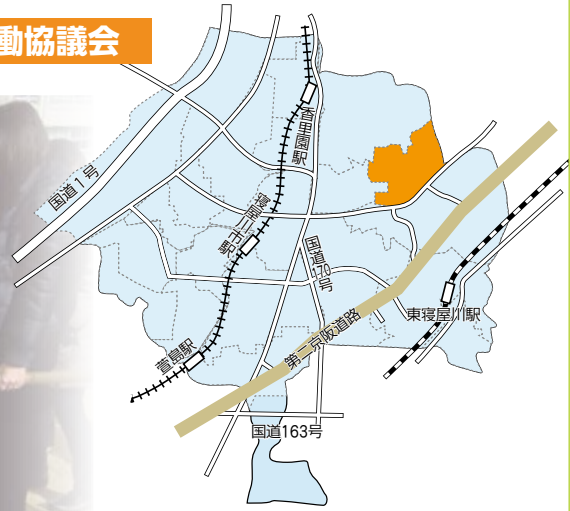


三井校区地域協働協議会



150人を超える住民が参加、地震や火災の体験も行います

小学校区ごとに一つある地域協働協議会では、住民同士や団体が協力・連携し、話し合いながら、行事や防災、福祉、緑化など地域の特色を生かした取り組みが行われています。地域協働協議会の取り組みなどをシリーズで紹介します。

防災訓練

年1回、消防署や消防団と連携し、救命方法や消火器の使い方など、実践型の防災訓練を行っています。

☎ 市民活動振興室 (☎825・2120)

子どもも大人も
笑顔がキラッと
輝くまち

三井地域は集合住宅（団地）が多く、住民の高齢化率も非常に高く、住民同士の協力・連携が課題の地域でした。地域協働協議会が設立され3年が過ぎ、自治会長を中心に住民が集まる機会が増え、子どもから高齢者まで地域に一体感が生まれました。特に高齢者同士の関わりが深くなり、交流イベントなどを生きがいとして楽しみにしている人もたくさんいます。



三井校区地域協働協議会
会長 川崎 容子さん

「地域住民が主役・地域のことは地域で決めるまちづくり」を目指して、住民全員が力を合わせ、協力し合っってより良い地域にしていきたいです。



餅つき

毎年11月に開催している餅つき大会では、子どもと高齢者が力を合わせて餅をつき、出来上がった餅をみんなで食べます。

こんなことにも取り組んでいます



子どもウォークラリー大会

小・中学生がチームでゲームを楽しみながら、ゴールを目指します。十中社明、宇谷校区地域協働協議会と共催で開催しています。



いきいきギャラリー

地域住民のふれあいと交流を目的として、学習会や手作り講習会、カラオケ大会などを開催しています。今年は「松ぼっくりツリー作り」を行いました。